

水道のことを楽しく学ぼう!

● ● 出前水道教室 ● ● ●

水道局のことをよく知ってもらうために、楽しみながら学べる出前 水道教室を行っています。出前水道教室では、水道局の職員が小学校

に行き、ろ過実験や水源から乾草まで水道水が届けられる仕組みなどを小学校4年生に説明しています。また、より多くの皆様に知ってもらえるように、YouTubeで小学生向けの動画を公開しています。



- ●川井浄水場(旭区上川井町2555)
- ●小雀浄水場(戸塚区小雀町2470)
- ●青山水源事務所(相模原市緑区青山3482)

浄水場などの見学は、横浜市ウェブページをご確認ください。

゜水道局お客さまサービスセンター゜◎◎◎◎

☎ 045-847-6262

20045-848-4281

※おかけ間違いのないようご注意ください

年 組 名前

発行:令和5(2023)年4月 横浜市水道局広報課 横浜市中区本町6丁目50番地の10 全045-671-3108 FAX 045-212-1169 [Eメール] su-kouhou@city.yokohama.jp







地震で水が出なくなったら? ……… P. 7





水道水は、どうやってできるの? 2





みんなが 飲んでいる水は、 遠いところから 来ているんだね。

1 水源(すいげん)

水道水は、主に山にふった雨や雪からできます。 ふった雨や雪が、すぐに川から海へと流れてしまわ ないように、川に木を植えたり、ダムをつくったりし て水をためています。

川にたくさんの木があれば、雨や雪が地面にしみ こんで少しずつ川に流れ出ていきます。そのため、 少しくらい雨がふらなくても川の水がなくなること はありません。

湖



5 浄水場(じょうすいじょう)

浄水場は飲み水(水道水)をつく る施設です。川などから取り入れた 水は、浄水場でいろいろな処理や検 査をして、みんなが飲むきれいな水 になります。



254

山にふった雨や雪は少しずつ 川へ流れ出し、ダムにたまります。 ダムは川に流す水の量の調整 などをしています。



取水ぜき

3取水(しゅすい)ぜき

ダム

ダムや川から水を取り入れます。



4導水施設(どうすいしせつ)

取水ぜきで取り入れた水を大きな 橋やトンネルで浄水場まで運びます。 いちばん遠いところでは約40キロ メートルを約13時間かけて運びます。

▶浄水場で水道水ができるまで





1着水井

2沈でん池

①着水井

川などから取り入れた水が最初に届くところです。 ここにためた水を沈でん池に送ります。

2沈でん池

20配水管 (はいすいかん)

配水池から出た 水道水は、配水管 を通ってみんなの 所へ送られます。

着水井から来た水に薬を入れてよく混ぜると、水の中 にある小さなよごれは、薬の力でくっつき、大きな固まり になって沈でん池の底に沈みます。そして、上のほうの きれいな水をろ過池へ送ります。

日ろ渦池

沈でん池から来た水を砂の中に通し て、沈でん池で取りのぞけなかった小さ なよごれを取りのぞきます。

4 消毒設備

る る 過池できれいになった水に塩素という 薬を入れて消毒して、水道水の完成です。

配水池は浄水場でつくった水道水をためておく

育庫です。浄水場でつくることができる水道水の量

は決まっているので、みんながお風呂に入るときな

どたくさん使うときのために、ためておきます。

(はいすいち)

浄水場

配水管



家庭





8学校やみんなの家庭へ

⇒学校の水飲み場ぐ

横浜市内の小・中学校では、水道水がいったん受水槽や高置水 槽というタンクにためられて、水飲み場の蛇□から出てきます。夏 になるとタンクの中の水が太陽の熱であたためられてしまうため、 蛇口から出てくる水がおいしくないと感じる人もいます。

そこで、タンクを通さず、配水管の水を直接蛇口から飲めるよう に学校と協力して工事を進めています。

このように、水道局では学校のみんなに夏でも冷たくて良質な水を 飲んでもらうための取り組みを平成17(2005)年度から行っています。 これまでに市内の約半数の学校で蛇口から配水管の水を直接飲 めるようになっています。



横浜の水はどこから来るの?



水や川を守るため、取り

入れる水の量は決めら

れているんだよ。

■ Ⅲ 馬入川系統

₩ 企業団酒匂川系統

0	横浜	in	7K	追	4
	1円 /ブ	マリノ	7]/	加不	4

上の地図と合わせて見てね	名 前	ー日に取ることができる 水の量はどれくらい?	どこの水?	どこからどこへ行くの?	
	道志川系統	172,800m³	道志川	道志川にある鮑子取水ぜきで取り入れ、川井浄水 場へ	
	相模湖系統	394,000m³	相模 湖	相模湖と津久井湖の間にある沼本ダムで取り入れ、西谷浄水場へ	
	馬入川系統	284,700m³	主に津久井湖	相模川下流の馬入川にある寒川取水ぜきで取り入 れ、小雀浄水場へ	
	まずょうだん さかわ がわけいとう 企業団酒匂川系統	605,200m³	主に丹沢湖	酒匂川にある飯泉取水ぜきで取り入れ、神奈川県 内広域水道企業団 ^(※2) の浄水場へ	
	章 **。 企業団 章 ** 相模川系統	499,000m³	主に宮ケ瀬湖	相模川にある相模大ぜきとその下流にある寒川取水ぜき(馬入川系統と同じ所)で取り入れ、神奈川県内広域水道企業団の浄水場と小雀浄水場へ	
	合 計	1,955,700m ³	(小学校のプール約11,200杯分(*3))		

(*1) 1立方メートル(m3)は、1,000リットルです。

(※2) 横浜市・川崎市・横須賀市・神奈川県の4団体が共同で水道水を作り、4団体に水道水を売っています。

(※3) プールの水の量を175立方メートル(m3)として計算しています。



横浜市水道局の浄水場は、川井・西谷・小雀の3カ所です。浄水場できれい にした水は、横浜市内に22カ所ある配水池にためておきます。そこから大 小の水道管を通ってみんなの家に送られます。

市内にある水道管は全部つなげると約9,300キロメートルあり、これは、 地球4分の1周と同じくらいの距離です。また、配水池でためられる水の量は 全部合わせると957.500立方メートルで、小学校のプール約5.500杯分にな ります。

横浜の水道の歴史

水道の誕生

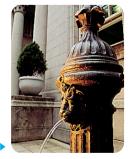
そこで神奈川県は、水道にくわしいイギリス人のヘンリー・スペンサー・パーマーさんに水道をつくる計画をたのみました。そして、2年6カ月かけて工事を行い、明治20(1887)年10月17日に日本で初めての近代水道が完成しました。



パーマーさん

近代水道って何?

近代水道とは、ろ適をしてきれいになった水を鉄の水道管を通して圧力をかけて蛇口まで送る、みんながいつも使っている水道のことです。今はこれだけでなく、水を**塩素で消毒**しています。



近代水道ができたときに使われていた蛇口(獅子頭共用栓)▶

今日までの歩み

横浜が発展したのは 水道のおかげでも あるんだね!



近代水道が完成した後も、関東大震災や第二次世界大戦の大きな被害を乗り越えて、増え続ける人口や発展していく横浜の街を支えるため、水道の施設を増やす工事などを進めてきました。そうして、みんなの家にいつでも安全な水をお届けしています。

今では、浄水場や水道管など、水を届けるためのたくさんの施設を管理しています。また、古くなった水道の施設を地震にも強い施設にする工事をして、これからも安定して水をお届けできるようにしています。

水は、どう使われているの?

水は、いろいろなところで使われています。家ではお風呂・トイレ・台所・洗たくなど、学校では水飲み場・トイレ・給食調理・プールなど、そのほかでは、公園の水飲み場・消防車の水などで使われています。

今、横浜市では100パーセントの人が、また全国では約98パーセントの人が水道水を使っています。1人が1日に使う水の量は約200リットルです。これは、みんなが給食で飲んでいる牛乳パックの約1,000本分にあたります。





洗 面 およそ リットル

トイレ およそ ____ リットル



水道メーター



この赤い針が1周すると、 10リットルです。



知ってビックリ、塩素の効果!

塩素には消毒作用があり、雑菌などから水を守るというとても大切な働きをしています。水道水に含まれる塩素は、一生飲んでも健康に影響のない量になっています。



水道水は 安心して 飲んでね!



地震で水が出なくなったら?



あ〜びっくりした。 そういえば、大地震が 起きると道路が壊れたり、 電気やガスが止まったりす るって聞いたけど、生活に 必要な水って どうなるのかな? 水道局では、 大地震が起きても水が止ま らないように、いろいろな 工美をしているんだ。



古くなった水道管を地震に強いものに取りかえたり、

のに取りかえたり、 停電に備えて浄水 場などで自家発電 できるようにした りしているんだよ。





地震に強い水道管は東日本大震災や熊本地震などの 大きな地震でも、壊れたことがないんだよ。 地震に、とっても強いんだ。



ご送感をおかけします
地震に強い
水道管に
取り替えています
令和○年○月○日まで
時間帯○:○~○:○

この着板があるところでは、地震に強い水道管に取りかえる工事をしています。 この工事は、みんなに水道水を送り続けるために、とても大切な工事です。

みんなの家で備えられることは?

みんなの家でも、 **何かできること**は あるのかな?



大切なことが3つあるよ。

1 みんなの家で最低3日分の飲み水を用意

用意する量は、1人1日3リットルとして3日分で9リットル以上だよ。

2 ポリ容器、台車やリュックなどを用意

いざという時に水をもらえる災害時給水所には容器がないんだ。

水は重くて持ち帰るのがとても大変だから、容器と一緒に 台車やリュックなども用意しておくと安心だよ。

3 自治会町内会などで行う防災訓練に参加

地域のみんなで協力して、災害時に水を配れるようにするよ。

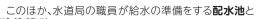
災害時給水所って?



水道局では、災害で水が出なくなったときに誰でも水をもらえる災害時給水所を整備しているんだ。



「災害時給水所」は、これが首節



緊急給水栓には、地震などが起きたあと水が出るようになったら、右の画像のようなのぼりが立つんだ。

また、避難所の学校の水飲み場を地震に強い水飲み場にした**耐震給水栓**も整備しているよ。

いざというときは、 災害時給水所で飲み水を もらうことができるんだね。 でも、どこにあるのかな?



災害時給水所は、主に小・中学校など 住んでいる地域ごとに指定された避難 所などにあるんだ。

災害時給水所

のぼり

災害時給水所の場所は、はまピョンマップや横浜市ウェブページ、区役所などにある災害時給水マップなどで確認できるよ。

自分の家から一番近い災害時給水所を調べて、家族やお友だちに教えてあげよう

災害用地下給水タンク	
配水池	
緊急給水栓	
耐震給水栓	

「緑のダム」水源林を大切にしよう!2

水源林の土には、山にふった雨や雪をダムのようにたくわえて、ゆっくりと川 に流すなどの働き(水源かん養機能)があります。別名「緑のダム」ともい われています。

横浜市には5つの水源があります。その中の一つである道志川が流れる山 製県道志村に水道局は広い森林を持っていて、100年以上にわたって計画的 に手入れを行っています。ほかの水源は、神奈川県などが管理しています。

水源林の面積

水道局が持っている道志水源林の面積は、 2,873万平方メートル(日産スタジアム約420 個分)です。これは、道志村の総面積の約36% にあたり、都筑区の面積とほぼ同じです。



×約420個

今倉山▲ (山梨百名山) 1,470m

縄文の女神の森

なばたけやま 承畑山 ▲ (山梨百名山)

1,283m

道の駅 どうし

横浜市水道局 水源林管理所

みしょうたいさん 御正体山 (山梨百名山) 1.682m

山伏峠

記念碑



菰釣山 1:379m

赤鞍ケ岳 1.299m

道志村役場

道志水源林

道志中学校 道志小学校

▲加入道山 1,418m

道志村

人 大室山(山梨百名山

みなもと体験館 道志•久保分校

道志川

かねつきやま



洪水をおこしにくくする

きがみはら 相模原市

水源かん養機能

水をたくわえる

水をきれいにする。

森林にふった雨は、ス ポンジのような土の中を 地中に向かってゆっくりし みこんで、きれいな地下 水になります。

ゆっくり地中にしみこん だ水は、湧き水となって地 上にあらわれ、沢や川にな ります。もし、森林がない と、ふった雨を地中にため ることができないので、す ぐに雨水が川に流れてしま います。森林の土は、雨水 が川に流れ出る量を調整 し、選択をおこしにくくする

働きを持っています。

森林の土は、樹木の葉っ くわえることができます。

人工林の保護育成

人工林(762万平方メートル)

天然林(1.799万平方メートル)

※その他の土地(312万平方メートル)

道志水源林の約26%がスギやヒノキなどの人工林です。人工林 は、木を植えたあとの手入れが十分でないと、水をたくわえるなどの 力が低下します。力を低下させないよう計画的に間伐などの手入れ を行い、森林を守り育てる作業を行っています。

水源林の力がさらに上がるように、さまざまな木々が混じりあって いる針広混交林*を育てる管理を進めています。

※針広混交林:針葉樹林の大木の間に、水をたくわえる機能の高い広葉樹が混じ りあっている森林。



施設見学地

山中湖村





水道局の環境への取り組み

毎日、きれいで安全な水道水を使えるように、横浜の水道は、相模川や酒匂川、山梨県の 道志川などから水を取り入れ、浄水場で水道水にして、学校やみんなの家に送っています。 水道水をつくるためには、電気などたくさんのエネルギーが必要で、環境にいろいろな影 響を与えています。 水道水が学校やみんなの家に届くまでに、どんな影響を与えているの かを見てみましょう。

どんな影響があるのかな?

電気や燃料を使うと二酸化炭素が発生します。





取り入れた水を浄水場 へ運ぶ設備や機械の運転 のために、電気や燃料を 使います。





水をきれいにする設備 や機械の運転のために、 電気や燃料を使います。





学校やみんなの家など に水道水を送るためのポ ンプの運転に、電気を使 います。

水道工事をするときなどにも、 二酸化炭素が発生します。

学校や家庭





おん だん か

『地球温暖化』

燃料を燃やすと、空気中に二酸化炭 素が発生します。

二酸化炭素などいくつかのガスは 熱をとじこめる働きがあり、太陽の熱 や燃料を燃やして出た熱が、空気の中 にたまってしまいます。

その結果、地球の気温が少しずつ高 くなってきていると言われています。

地球への影響も 考えないといけないね。

水道局が環境を守るために行っていること

水源の森林を守る

水道局は、山梨県道志村に水源林を持っています。この森林を良い状態に たも 保つために、余分な木を切るなどの手入れをしています。

また、人手不足で手入れが行き届かないそのほかの森林は、市民ボラン ティアのみなさんと協力して作業しています。







令和3年度

二酸化炭素排出量の合計は…

5.856万キログラム

約1億1,543万平方メートルの面積(横 浜市全体の約26%)の森が1年間で吸収 する量です。水道水1立方メートルをつく るために、約143グラムの二酸化炭素 が排出されました。

水道日ではわれた。東与の燃料の一年間の合計(全部で大事)

小児同で使われ	741/2、电文「マ旅行り」―午回り口言「令和3年度)			
電気	1億3,300万キロワットアワー	一年間に家庭で使う電気 1 ×約3万2,000軒分		
軽油・灯油・ガソリン	117立方メートル	家庭用のお風呂 ×約590杯分		
都市ガス	6万8千立方メートル	ー年間に家庭で使うガス <mark>♦♦♦</mark> ×約300軒分		

2. 浄水場などで 電気をつくる

水道水をつくるためには、多くの電気 が必要です。浄水場や配水池では、太陽光 や水力などの自然の力を使って、水をき れいにするために必要な電気の一部をつ くっています。



止手に使おう 横浜の水!

▲ 手洗いとうがいは何で必要なの? ▲

手は、思っている以上に雑菌でよごれています。また、口やのども手と同じように外の空気 に直接ふれている部分なので、多くの雑菌がついています。

手洗いやうがいをしないと、目に見えない雑菌が口から体内に入り、病気になることがあります。そのため、水道水で手洗い、うがいをして、雑菌を洗い流すことが病気の予防になります。

特に冬は、インフルエンザやかぜにかかりやすいので、こまめに手洗いとうがいをしましょう。 新型コロナウイルス感染症の予防にも効果的です。

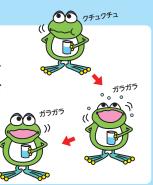
▲正しい手洗いの方法 ▲

- 1 石けんを惣立てて、手のひらを合わせてよくこする
- 2 石けんの泡をのばすように手の甲をこする
- 3 指先とつめの間を、反対の手のひらにつけ、円を描く ように洗う
- 4 両手の指を組み、指の間をこすり合わせる
- 5 親指のつけ根をねじり洗いで洗う
- 6 手首も荒れずに洗う
- 7 泡とよごれを水できれいに洗い流す
- 8 きれいなタオルで手をふき、乾かす



◇正しいうがいの方法 ◇

- 1 □のまわりのよごれを水で洗う
- 2 水を口に含み、強くクチュクチュしながら2~3回洗い流す
- 3 上を向いて、のどの奥のほうで10回くらいガラガラとうがいをする ◆15秒程度 ▶
- 4 仕上げにもう一度ガラガラとうがいをする 15秒程度



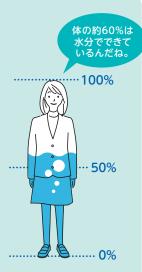
人と水の関係って?

人の体は、約60パーセントが水分です。 体の水分が 20パーセントなくなると、生きることができないといわれています。

人が生きていくには、1日に約2.5リットルの水が必要です。わたしたちは、水分を飲みものや食べものなどからとっています。

このように水は、わたしたちにとって、なくてはならないものなのです。

夏だけではなく、一年を通してこまめに水分をとりましょう。



水道でつながる、横浜と世界の国々

横浜では、水道の蛇口をひねればいつでも水を使うことができます。しかし、世界には、まだ水道がない国、水道があっても飲める水が出ない国がたくさんあります。人が生きていくために、水は欠かせません。塩素で消毒された安全な水を得ることができないと、コレラなどの病気がはやる原因になるので、水道の整備はとても大切です。

そこで、水道局では世界中の水道の仕事をする人に対 ませっして、130年以上の歴史の中でたくわえてきた技術や知識 を伝えています。

これまでに外国に行った職員の数は、昭和48(1973)年から現在までに460人を超え、横浜に水道を学びに来た外国の人々は、昭和62(1987)年から現在までに4,300人以上になります。

このような活動をとおして、平成20(2008)年にベトナム のフエ市では、水道の蛇口から安全な水が飲めるようになりました。



▲アフリカマラウイ国での活動の様



▲蛇□から直接水を飲むベトナムの子どもたち